	基本目標名 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 政策 名 3 歴史・文化を守り育てるまちづくり 施策名 2 歴史・文化資源の保存と継承														成日 令和 			上財課	日	
	課 文化推																	胎	川貴史	
1. 施策(<u>の目的と成り</u> □この施策に	県把握 よ、誰、何を対象として	ているか			対象指標				単位	R4	R5	5 R6	R7				のうち市内に住		
①佐野市に存在する文化財 施策の目的 「対象」 ②市民 ②市人口					録文化則	件数(累計)			件	269	274	1		ている指 握するた		文化財 設定し	や登録文化則 t- 。	等の数	量を把	
								人	115,700	114,6	95			2 歴史·文(1	上資源()保存・継承に係る人数把握 宮・関係する歴史·文化資源				
(3) (4)														光田北 無	の保存・継続	継承に係るボランティア養原 ティア活動に参加した人数			座や各	
この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか 成果指標(意図の達成度を						を表す指	∤標) Ⅰ	区分	単位	R4	R5	5 R6	R7	設定の考え方	性小フンティ	「 / 泊 男	川〜参加し/ころ	、奴で政力	たした。	
①文化財が適切に保存・継承される。 ②市民が歴史・文化資源について学び、継承し ② では、というでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で						ハる指定等 <u>目標</u> 実績			件	275 269	276 274		278							
でいく。施策の目的「意図」 歴史·文化資源関連のボランティア活動参加人数(単)					ィア養成語		目標		1,050	1,10		1,200								
					四人数(単名	年度)		実績 目標	<u></u>	347	703	3			文化財課資	· 本:1				
			3				実績							成果指標の②						
4									目標 実績						取得方法 ③					
2. 基本事業の目的と成果把握																				
基本事業2	名 対象	意図 ①歴史・文化資源	成果指標	区分			R6		基本事		対象		意 ①②歴史	図	成果指		分単位		R6	R7
資源の調	化資源	を掘り起す。	① 新規指定·登録文件数	大化財 目標 実績	件 6	6 7	7	7	歴史・	の理	①市民 ②児童	生	源につい			石館、伝 目 注	標 人	55,500 56,000 36,905 41,77		57,000
査と適切 な保存・継	②文化財 上 所有者	②歴史・文化資源 を適切に保存し継 承する。	指定文化財維持	_{毎理} . 目標	件 46	3 46	47	47		の促進 地域づく の推進	徒		解する。 ①②歴史	··文化資	学校利用	(出前講 目)	標	4,100 4,150	4,200	4,250
承			保存修復件数		48	3 46	-						源を継承育む人材	し郷土を	.	-		4,086 3,494 470 480	490	500
			3	実績			+	<u> </u>	·				る。	CH/%.	③ボランティアを 等の活動件数	美成講座 三字	4/T	98 241	430	300
				目標											4	目				
	1	1		実績 目標			+									実; 目 [;]				
			U	実績					1						U	実	績			
			3	目標実績											2		標 績			
				目標					1						3	目	標			
				実績 目標												実 目 7				
			4	実績											4	実				
3. 施策(の目標達成			- 41									16-66	48-		+ -1: 11: sm				
•国県	の指導を受け	デ和5年 けながら、天命鋳物伝列	∓度施策の取組力 承保存会等と連携Ⅰ		議会に備え	た資料を	- 軽え				【施第	の取象	祖方針達成物	犬況】	方針・成果指標注 出し、文化審議会の					
展や講演会等を実施し、郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館の利用を促進する。 ・「(仮称)佐野市歴史文化基本構想」は、「栃木県文化財保存活用大綱」を参考に業務内容 討を進める。 ・埋蔵文化財の損壊を防止するために、市域全体の遺跡地図の作成を計画的に進める。 施策									□ 全て□ 全て□ 全て	C達成 邵未達成	・【未達成】指定文化財・登録文化財件数は274件となりR4より5件 査事業)。 ・【未達成】適切に保存・継承されている指定等文化財件数は274 た(文化財保護調査事業)。 ・【未達成】歴史・文化資源関連のボランティア養成講座やボラン たが、目標に達しなかった(文化財保護調査事業・唐沢山城跡保か)。 ・【達成】新規指定・登録文化財件数は、7件(国指定「佐野の天明 本殿外5件」)となった(天明鋳物生産用具国指定推進事業・文化 ・【達成】指定文化財維持管理・保存修復件数は46件となった(指 備事業ほか)。 ・【未達成】学校利用(出前講座含む)実績は3,494人となり、目標 か)。						企画展等開設事業ほか)。 は、他市の情報を調査するに留まったが引き続き 件の増だが、目標に達しなかった(文化財保護調 4件となりR4より5件の増だが、目標に達しなかっ ディア活動参加人数は、703人となりR4から倍増し 保存整備事業・田中正造旧宅一般公開支援事業ほ 明鋳物生産用具及び製品」、国登録「唐澤山神社 と財保護事業) 皆定文化財保存修復支援事業・唐沢山城跡保存整 票に達しなかった(郷土博物館指定管理事業ほ			
4. 施策(<u>の基本情報</u>	社会情勢変化、国・リ	県の動向、市民・1	義会意見等	<u> </u>								施策の	成果向	上に向けての役	割分担				
		る史跡整備に関係し、現象での史跡公園整備等の	環境整備、遊歩道整	備、案内板の	の設置、た			市民							事業所				/n -	
・山城サミット佐野大会を一過性とせず、本市の歴史遺産の掘り起こしやPRの要望あり。(市議会) ・唐沢山城跡整備事業に関係し、専門職員を配置するよう強い指導あり。(文化庁、県) ・指定文化財等の保存修復、災害時対応、管理費助成制度の要望あり。(市議会、所有者) ・天明鋳物生産用具を国の重要有形民俗文化財に指定させる支援要望あり。(市議会、所有者) ・文化芸術活動の振興を図る公益財団法人佐野市文化振興事業団との連携、協力が求められている。(社会情勢変化) ・R6.3月に「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」1,556点が国の重要有形民俗文化財に指定された。						理解を ・郷土の る。 ・郷土の	深める。 D歴史・フ	文化資源	腺に対して関心を寄せ、 原の保存や継承に努め 原の活用を図る。			せ、理解 ・郷土の する支持	・郷土の歴史・文化資源に対して得せ、理解を深める。 ・郷土の歴史・文化資源の保存や対る支援を行う。 ・郷土の歴史・文化資源の活用を関			め、調査研究を行う。 (本) ・歴史・文化資源の理解促進のため、有効な 情報発信をするとともに、施設が所蔵する収				
		- 今後の課題 - 今後(A / L /	T					11:	n ==					A ##-			
施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括 ・唐沢山城跡の石垣整備は、国や指導委員会の指導・助言を受けながら進めているが、織豊系								今後の課題 【会和6年度で解決する課題】							今後の方向性					
城郭の石垣整備は近隣自治体に取り組み事例もなく、手続きや工事手法等の検討に多くの時間							引·国指定	定史跡原	唐次 9 唐沢山坂 石垣整	成跡の	適切な係			麗として、	害沢 沢山城整備)唐沢山城跡の保存・整備・活用は、平成30年に策定した唐 山城整備基本設計に基づき推進する。 唐沢山城跡の整備・調査を進めながら、ガイダンス施設の				
・ガイダンス施設(ビジターセンター)の候補地選定は、関連部署との調整を図りながら検討を進							【令和7	7年度じ	人降にも	引き継	がれる	課題】		づき事		いて検討する	る。			
整備に伴う発掘調査や整備状況の情報発信を行う。							城跡の	保存・ቜ	整備・活	用を推	進する	0	シンター)の		活用を図り	つつ、唐沢山		トハウスや郷ニ		
実施し、指定管理制度を導入した郷土博物館をはじめ3館とも概ねコロナ前の利用者数に戻っ							③唐沢	山レス	トハウス	スや郷:	上博物館	など	の施設にお	いて、デ		加館等の入館		「向けては、企匠 に魅力的ニーフ		
							発信を	ル技術の活用を図りつつ、発掘調査や整備状況についての情報 設に際して市民ニーズの把握と魅力的テーマに心発信を行う。 性のある事業を企画し広くPRする。												
館への寄託の協力が得られ、文化審議会の審議を経て、「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」 1,556点が重要有形民俗文化財に指定された。今後は将来の保管場所について展示活用計画と							と 増加。								業の開始に	-向けて具体	的に検			
併せて検討しておく必要がある。 ・施策全体の令和5年度決算額は89,356千円で、令和4年度決算額58,081千円に比べ、31,275								増加。												
千円増となった。主な要因は、葛生伝承館空調設備改修事業費と天明鋳物生産用具国指定推 進事業費の増によるものである。									窓界と。 ⑥国指定となった天明鋳物生産用具の市内での保管場所につい で、展示・活用等の計画と併せた施設整備 ②唐沢山城跡二の丸石垣整備(地形復旧)工事に											
									【令和7年度重点課題】 ⑦国指定史跡唐沢山城跡の適切な保存・整備の一環として、唐 沢山城跡二の丸石垣整備											, A-